

令和6年度 第1回清瀬市男女平等推進委員会 議事録

日 時：令和7年3月28日（金） 午前10時～正午

会 場：男女共同参画センター 会議室1・2

出席者：橋本委員長 佐藤副委員長 前川委員 豊田委員 田村委員 芦澤委員
渡辺委員 鈴木委員

欠席者：福田委員 高橋委員 長友委員

事務局：地域振興部男女共同参画センター

◎⇒委員からの発言

■議題

1 自己紹介

事務局 今年度より委員の入れ替えがあったため、自己紹介をお願いしたい。
（各自自己紹介）

2 正・副委員長選出

→ 橋本委員長 一同異議なし

副委員長選出

→ 佐藤副委員長 一同異議なし

3 今後の流れについて

◆毎年度行う男女平等推進プラン進捗状況調査

事務局 従来のスケジュールでは年間を通して、調査や疑問点等のヒアリング・評価・報告を行ってきた。しかし、この方法では1年かけて前年度の活動の評価を行うため、全部評価し、総論を書き終えたころには次年度に入ってしまう。そのため次の活動に評価を反映することが難しいのではないかと考える。

そこで評価の対象を限定することで全体の期間を短縮することを提案したい。短縮するにあたっては前回5年ごとのプランの見直しを行ったが、目標2については見送っている。理由としては令和5年度より施行された女性支援新法がプランに大きく関わってくるため、それを踏まえて評価するべきとしたためである。そのため昨年の評価において、目標2に関する記載はない。今年度については目標2に注力して評価できればと

考えている。

◎プランの評価を行ったとして、数値だけの報告があったりするのではないか。またそれを実際に活かすことは出来るのであろうか。

事務局 事務報告的な内容ではなく、女性の参加や男性の参加があったことを追記できるようなものであると望ましいのではないかと考える。職員全員が意識して回答を行うべきである。

これらの調査への評価があることで、各課においては男女平等の視点で各事業を進めていくことができると思う。

毎年度行うプラン進捗調査については短縮スケジュールにて行うことで、一同合意。

◆第4次男女平等推進プランの策定について

事務局 第4次男女平等推進プランについては令和7年度を構想の検討としているがこれは毎年度行っているプランの調査を短縮して行うことで、ディスカッション等実施できるのではないかと考える。また令和8年度から開始される清瀬市長期総合計画の結果を見つつ、プランの方向性を定めることができるのではないかと考える。プランの策定の際には当然、長期総合計画やその他の計画との連携も必要となってくる。また各種調査の数値を基に目標を決定することが必要である。

令和7年度に構想の検討、令和8年度に各市調査、令和9年度に調査の結果を踏まえたプランの検討、令和10年に施行開始を行いたい。

◎素案の作成に関して、どのように行うのか。委員会が作成となると負担が大きいと考える。

事務局 これまで男女平等推進プランはコンサルを入れずに自分たちで作成してきたと聞いている。しかしながら実働的に動くことができる部隊が必要であるためコンサルを入れて作成できればと考えている。しかしながらあくまで担当事務局としての考えであるため、今後の決定に基づき行うこととしたい。しかしながら、ほとんどの清瀬市における計画はコンサルが入り策定している。それほどプランを作成するには時間と手間がかかる。

またパブリックコメントについて、特に重要な施策等については必ず行うこととしている。ご提供いただいた意見については吟味し、プランに反映していくこととしたい。

◎プランの策定については本委員会とは別で検討委員会の様な会議体を作るべきでは

ないか。

事務局　すべて男女平等推進委員会にて作成するものではない。内部の委員会にて作成し、計画を作成する別の委員会にて検討する。しかし、最後には本委員会が条例に基づき設置されている委員会であることから、意見を行い、推進本部にて決定するイメージである。

◆次回の日程

次回の日程は、8月22日（金曜日）とする。

以上